大学改革支援・学位授与機構からの補足説明及び質問事項

◆日　時：令和４年10月13日（木）11：02　佐藤様から入電

◆対応者：牛嶋

◆内　容：以下のとおり

　〇補足事項

　　今回の確認は、達成水準、達成時期、達成に対する考え方及び捉え方の確認を行うもので、以下について確認するものではない。

　 　・定量的な指標に対する達成状況

中期計画全体として計画を達成できたか、

ではなく、定量的な指標に対する達成状況の自己評価を書く。

　　 ・実績が目標値に達成していないこと

　　 ・中期計画全体としての達成状況の確認

　　 ・報告書の見直しをしてほしいこと

　　また、中期計画には具体的な達成時期が書かれていないが、６年間ずっと達成する予定だったのか、１回でもクリアしたらよいと考えていたのかについて説明してほしい。（〇〇と考えていたが、実際は××だった、等）また、達成状況報告書に書ききれなかった取組や外的要因があれば、それも記載してほしい。

　　加えて、以下のような事項についても説明してほしい。

　　【中期計画2-2-1-1】No.24 国際共同研究数

　　　　指標の捉え方が変わっているので、共同研究の目標値に対する自己評価を記載してほしい。また、SciValによる確認は、定量的な目標を達成したことと、どのようにつながるのかを説明してほしい。

　　【中期計画3-1-1-2】No.32　地元就職率

　　 　10％増と書かれている計画の10％の捉え方に対する説明をしてほしい。また、４年目終了時評価指標に対してどう思うかについても説明してほしい。

　　【中期計画4-1-2-1】No.41　国際研究者交流30％増

　　 　実績は100％を超えているが、実質的にどうなのかを説明してほしい。（例えば、オンラインの参加者が研究者交流にどのように関わったのか、研究者数に学部生も数えているのか、等）

〇確認事項

　中期計画1-4-1-2（No.19）で、とびらプロジェクトが、受け入れ者数に対して修了者数がかなり少なくなっているが、その理由を教えてほしい。

（回答）

　とびらプロジェクトは、質を担保するため、厳しい修了要件を満たした生徒のみを修了者として認定しているが、ほとんどの生徒が最後まで継続して受講している。